

パートナー

**山崎卓也** (YAMAZAKI, Takuya)



(第二東京弁護士会)

## 経歴

---

- 1993年3月 早稲田大学法学部 卒業
- 1994年10月 司法試験 合格
- 1995年4月 司法研修所 入所
- 1997年4月 弁護士登録(第二東京弁護士会) マックス法律事務所 入所
- 2001年1月 Field-R 法律事務所 設立

## 主な活動・資格等

---

- ・ [スポーツ仲裁裁判所\(CAS\)](#) 仲裁人
- ・ [国際サッカー連盟\(FIFA\) 紛争解決室](#) 仲裁人 (2009年～2019年)
- ・ 日本サッカー協会認定選手エージェント (1999年～2009年。FIFA 紛争解決室仲裁人 就任に伴い 2009年7月に資格を返還)
- ・ [国際プロサッカー選手会\(FIFPro\) アジア・オセアニア支部](#) 代表
- ・ [世界選手会\(World Players Association\)](#) 理事
- ・ [国際インディーズレーベルネットワーク\(WIN\)](#) 理事(Alternate)
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・人権労働・参加協働ワーキンググループ](#) 委員
- ・ [東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・持続可能性に配慮した調達コードに基づく通報受付窓口に係る助言委員会](#) 委員候補者
- ・ [芸団協実演家著作隣接権センター\(CPRA\)](#) 法制広報委員会委員 (2007年～2015年)
- ・ [日本スポーツ法学会](#) 理事
- ・ [アジアスポーツ法学会](#) 理事
- ・ [一般社団法人スポーツビジネスアカデミー](#) 理事
- ・ [ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会](#) 委員
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#)・[スポーツ仲裁法研究啓発活動委員会](#) 委員 (2007年～2014年)
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#)・[スポーツ界のガバナンスに関する委員会](#) 委員 (2010年～2011年)
- ・ [日本スポーツ仲裁機構](#) 仲裁人・調停人候補者
- ・ [日本体育協会](#)・[国民体育大会の参加資格に関する第三者委員会](#) 委員 (2010年～2011年)

- ・ [日本弁護士連合会・弁護士業務改革委員会](#) スポーツ・エンターテインメント法促進PT 幹事
- ・ [英国スポーツ法サイト "LawInSport" 編集委員](#)
- ・ フランススポーツ法サイト "[droitdusport.com](#)" 発行 "Football Legal" 学術委員
- ・ [国際サッカー弁護士会](#) 会員
- ・ [米国 Sports Lawyers Association](#) 会員
- ・ [国際エンターテインメント弁護士会](#) 会員
- ・ [中央大学法学部](#) 非常勤講師 (2007～2016 年「健康・スポーツ科学 B (スポーツ法)」担当)
- ・ [早稲田大学法科大学院](#) 非常勤講師 (2007～2016 年「スポーツ・エンターテインメント法」担当)
- ・ [日本大学スポーツ科学部](#) 非常勤講師 (2016 年「スポーツの法と倫理」)
- ・ [MPA 音楽著作権管理者養成講座](#) 修了 (1997 年)
- ・ "[The Best Lawyers International](#)" - Japan における "Media and Entertainment Law" と "Sports" の 2 つの分野で 2009 年の調査開始以来継続して Best Lawyers の 1 人に選出
- ・ 2009 年 8 月 29 号・週刊ダイヤモンド「本当に使える企業弁護士」のエンタメ・スポーツジャンルにおける「厳選！有名企業も頼りにする『らっ腕弁護士』」2 名のうちの 1 名に選出
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "The International Who's Who of Sports & Entertainment Lawyers" の 1 人に選出 (2013 年～)
- ・ "[Who's Who Legal](#)" - "Who's Who Legal Japan: Sports & Entertainment - Sport" の 1 人に選出 (2014 年～)

## セミナー・講演

---

### 2019 年

---

- ・ UNI Global Union - LCJapan 「スポーツと人権」
- ・ IMCJ (Independent Music Coalition Japan) New Standard Music Marketing 講座「[デジタルで音楽の対価と契約はどう変わったか](#)」
- ・ All That Matters (Music Matters) 2019 「[Entertainment Law in the Digital Age](#)」
- ・ Asia International Arbitration Centre (AIAC) - International Sports Law Conference 「[2019 Sports Arbitration Update: Hot Topics and Recent CAS Decisions](#)」

## 2018年

---

- ・ 日本オリンピック委員会 (JOC) アントラージュ専門部会「[アスリートのプロ化とエージェント・マネジメント](#)」
- ・ ROMANIAN SPORTS FORUM (ブカレスト・ルーマニア)「[The Current State of Economics and Legacy of the Olympic Games](#)」
- ・ Centre for Sport and Human Rights + 経済人コー円卓会議日本委員会「[Implementing Respect for Human Rights in Sporting Events: Two years to go for the 2020 Tokyo Olympic & Paralympic Games](#)」
- ・ [LawInSport "Japan: Update on the commercial and regulatory legal issues ahead of the Rugby World Cup and Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games"](#) ("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London)
- ・ [AIAF \(International Association for Football Lawyers\) "FOOTBALLERS' CONTRACTS"](#) (6th AIAF CONGRESS)
- ・ MaMA Festival and Convention 2018 (パリ・フランス)「[DAWN OF THE INDUSTRY OF THE ARTISTS](#)」
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[21世紀型スポーツビジネスと、東京五輪の「今」](#)」
- ・ 西村あさひ法律事務所リーガルフォーラム「[FIFAが取り組むステークホルダー・エンゲージメントと、五輪を含む人権尊重ムーヴメント](#)」
- ・ ユニセフ「[「子どもの権利とスポーツの原則」発表イベント・シンポジウム ～子どもが生きるスポーツの在り方](#)」

## 2017年

---

- ・ NY:LON Connect (ロンドン・イギリス)「[ALL CHANGE: LEADING MARKETS IN TRANSITION - Japan](#)」
- ・ アジアスポーツ法学会 (韓国・ソウル)「オリンピックなどのメガスポーツイベントが生み出す新たな法的トレンド～国際的な法整備機能と人権保障機能～」
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[国際スポーツビジネスの『成功の方程式』としてのルールメイキング力](#)」
- ・ SXSW (オースティン・米国)「[Demystifying Asia's Music Industry](#)」(シンポジウムのパネリストとして参加)
- ・ 台湾国立体育大学“International Law and Sports”, “Globalization of Union Movement”
- ・ 台湾スポーツエンターテインメント法学会 (TASSEL) “Response to Racism and Hooliganism in Sports”
- ・ スポーツビジネスアカデミー「[学生スポーツのあるべき姿を考える～100年先に行くNCAAから何を学ぶべきか～](#)」
- ・ IHRB + 経済人コー円卓会議日本委員会「[OPERATIONAL GREIVANCE](#)」

## MECHANISMS IN THE CONTEXT OF TOKYO 2020

- ・ [スポーツビジネスアカデミー「サッカークラブのGMという仕事」](#)
- ・ [慶應義塾大学ロースクール・経済法ワークショップ「プロフェッショナル・スポーツと独占禁止法」](#)

## 2016年

- ・ [スポーツビジネスアカデミー「国際スポーツの現場から見えるスポーツの潜在力とビジネストレンド」](#)
- ・ [スポーツビジネスアカデミー「スポーツビジネスにおける『成功の方程式』」](#)
- ・ [ピープルフォーカス・コンサルティング——グローバル・エンゲージメント・イニシアチブ有志会「社会的課題解決プロデューサーとしてのスポーツ」](#)
- ・ [経済人コー円卓会議日本委員会 "Grievance Procedures in Sports Federations – FIFA DRC"](#)
- ・ [MU:CON（韓国・ソウル）"Current Status and Future Trends of Digital Music Distribution in Japan - An International Perspective -"](#)
- ・ [ニューミドルマン養成講座「グローバル著作権ビジネス～今、世界で起きているバトルと、成功のための未来予測～」](#)
- ・ [日本ファンドレイジング協会×スポーツビジネスアカデミー「CSV時代のスポーツと企業とNPOの幸せな関係」](#)（シンポジウムのパネリストとして参加）
- ・ [日本スポーツ法学会「ロシア・ドーピング問題が提起した課題～規制強化は本当に効果的か。競技者の人権の観点～」](#)

## 2015年

- ・ [LawInSport "Athletes Welfare" \("UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME" Conference in London\)](#)
- ・ [若手法曹国際協会\(AIJA\)「国際的なスポーツ法弁護士になるためのキャリアアップ—FIFAの仲裁人、プロスポーツ選手のエージェント、スポーツビジネスに関する国際交渉」](#)
- ・ [大阪弁護士会スポーツ・エンターテインメント法実務研究会「スポーツ界で仕事をしている弁護士の一例」](#)
- ・ [SXSW アジア事務局「SXSW Musicでのセミナーに見るサブスク時代の最新音楽著作権バトル」](#)
- ・ [国際エンターテインメント弁護士会 "The Legal Update for Entertainment & Technology \(Japan\)"](#)
- ・ [アジアスポーツ法学会「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」](#)

- ・ 日本弁護士連合会「[青少年アスリートのスポーツ権の確保と弁護士の役割](#)」(コーディネーター兼パネリスト)
- ・ 日韓弁護士協議会「スポーツ選手及び芸能人の専属契約における問題点～芸能人・選手側が専属契約を終了させたい場合の実務的・法的問題点～」

## 2014年

---

- ・ [仙台大学](#)「サッカー選手の代理人業務の現状とこれから」
- ・ オランダ・[Asser 国際スポーツ法センター](#) "Sports Justice in Japan"
- ・ [UNI Sport Pro](#) "The Saga of 'Reforming the Posting System' - Multilateral negotiation and the economics of international baseball transfers"
- ・ [FIFPro \(国際サッカー選手会\) 及び APPI\(インドネシアサッカー選手会\)](#) "Fundamental Players' Rights Guaranteed by the FIFA Regulations - Fundamental Knowledge for the 'Good of the Game'"
- ・ 国際サッカー弁護士会 "What strategies can players employ to exploit their image rights?"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポンサー契約を通じたグッドガバナンス」
- ・ 国際法曹協会 (International Bar Association) "[Corruption in Sport](#)"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ法学教育の在り方―法科大学院生を対象とした授業に関する報告」

## 2013年

---

- ・ 中国・上海 [Boss & Young 法律事務所](#) "FIFA DRC"
- ・ アジアスポーツ法学会 "Sports Governance in Japan"
- ・ 早稲田大学「スポーツ法とは何か」(ロブ・シークマン教授の通訳)
- ・ 日本弁護士連合会「スポーツ界におけるグッドガバナンスとフェアプレーの精神」(ロブ・シークマン教授の通訳とスポーツガバナンス海外調査報告担当)

## 2012年

---

- ・ [同志社大学](#)「国際スポーツ法務」
- ・ オランダ・ユトレヒト [CMS 法律事務所](#) "Sports Law in Japan"
- ・ [愛知県弁護士会](#)「サッカー選手の代理人業務と弁護士業務」
- ・ 中国・[北京師範大学](#) "Sports Law in Japan"
- ・ [早稲田大学](#)「トップスポーツビジネスの最前線」
- ・ 日本スポーツ法学会「法的観点から見た競技スポーツの Integrity－八百長、無気力試合とその対策を中心に－」

## 2011年

---

- ・ 日本スポーツ法学会「東日本大震災がプロスポーツに与えた影響と法的問題」
- ・ [札幌学院大学](#)「プロスポーツにおける選手の権利と法律家・代理人の役割」
- ・ アジアスポーツ法学会 "The analysis and prospect of sports arbitration in Asia"
- ・ [UNI Global Union](#) "Fight for the players' rights in Japanese Baseball."

## 2010年

---

- ・ 日本スポーツ仲裁機構シンポジウム「世界におけるスポーツ仲裁と日本」
- ・ 中国・[武漢大学](#)他 "Sports Betting and Match-Fixing in Japan"
- ・ 日本スポーツ仲裁機構「FIFA 仲裁」
- ・ [国際スポーツ法学会 \(IASL\) 第16回大会](#) "Recent Changes in the Rights of Professional Sports Players/Athletes in Japan and the Rule of Law"

## 2009年

---

- ・ 著作権情報センター「著作権紛争はいかに解決されるべきか—「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題—」
- ・ FIFPro（国際サッカー選手会）Lawyers' Network "Developments in the transfer system in Japan"
- ・ 日本スポーツ法学会「スポーツ権とスポーツ基本法」
- ・ アジアスポーツ法学会「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」
- ・ 韓国・[中央 \(Chung-Ang\) 大学](#) "The rights of professional players in Japan"

## 2008年

---

- ・ 日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁の制度改革への影響」
- ・ サニーサイドアップ・EGG FACTORY 特別講義「スポーツエージェントの実際」
- ・ ジェブエンターテイメント「選手を支えるフットボールビジネスセミナー・選手の肖像権の実務とトラブルのケーススタディ」
- ・ 第二東京弁護士会スポーツ法政策研究会「日本サッカー協会認定選手エージェントとしての業務」

## 2007年

---

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS)「知的財産権基礎セミナー」(「肖像・パブリシティ権」担当)
- ・ 神戸大学法政策研究会「プロ野球の問題点とこれからの法政策」

## 2006年

---

- ・ 映像実演権利者合同機構 (PRE) 「実演家の権利」
- ・ 著作権情報センター 「著作権、パブリシティ権侵害における『実質的違法性』」
- ・ 日本俳優連合 「実演家の権利ーワンチャンス主義の適用範囲と限界」
- ・ グロービス・マネジメント・スクール・あすか会議 「スポーツ法務という裏方仕事」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース 「著作権とビジネス」
- ・ IT 企業法務研究所 (LAIT) 「エンタテインメントビジネスと独禁法・下請法」
- ・ 日本スポーツ法学会 「プロスポーツにおける選手契約の実像～日本のプロ野球とJリーグにおける選手契約の比較～」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS) 「知的財産権基礎セミナー」 (「肖像・パブリシティ権」担当)
- ・ 日本スポーツ法学会 「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」

## 2005年

---

- ・ 新社会システム総合研究所 「最強プロデューサーの『実践的』著作権実務」
- ・ 新社会システム総合研究所 「最強プロデューサーの『実践的』契約スキル」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース 「著作権とビジネス」
- ・ 新社会システム総合研究所 「『放送と通信の融合』に伴う法的諸問題 の行方を追う」
- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS) 「知的財産権基礎セミナー」 (「肖像・パブリシティ権」担当)
- ・ 帝京大学 「スポーツマネジメント」 (「プロスポーツ界の弁護士」担当)
- ・ 早稲田大学 「トップスポーツビジネスの最前線」 (「スポーツ法務」担当)

## 2004年

---

- ・ 新社会システム総合研究所 「『上級・ビジネス著作権検定』直前対策講座」
- ・ 日本スポーツ仲裁機構 「スポーツビジネスにおける法的問題の概観」
- ・ 日本弁護士連合会・独占禁止法研究会 「プロ野球参入障壁の実態と問題点」

## 2003年

---

- ・ コンピュータソフトウェア著作権協会 「ソフトウェア開発契約のポイント」
- ・ 新社会システム総合研究所 「携帯コンテンツ、ブロードバンドコンテンツ調達のための契約書作成マニュアル」
- ・ 新社会システム総合研究所 「事例で考えるコンテンツビジネスにおける独禁法対策のポイント」
- ・ 東海大学エクステンションセンター 著作権管理・訴訟コース 「著作権とビジネス」

- ・ 総務省 2003 年度情報通信人材研修事業・財団法人原総合知的通信システム基金主催「放送番組制作者のための著作権技術研修」
- ・ 新社会システム総合研究所「コンテンツビジネスにおける権利侵害リスク判断・演習講座」

## 2002 年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「エンターテインメントファンドの法理と実務」
- ・ 総合教育セミナー (TED) 「事例・判例で学ぶ肖像・パブリシティ権」
- ・ 新社会システム総合研究所「肖像パブリシティ権実務感覚養成講座」
- ・ 総合教育セミナー (TED) 「最新事例、最新法制から見たインターネットと著作権」
- ・ 新社会システム総合研究所「5 月施行『プロバイダー責任法』時代のブロードバンド配信と情報伝達者の責任」
- ・ 総合教育セミナー (TED) 「デジタルコンテンツの著作権処理と契約書作成ノウハウ」
- ・ 社団法人企業研究会「ブロードバンド時代の実践的著作権法務」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンドコンテンツ配信における権利侵害クレーム対応マニュアル」
- ・ 関西テレコムテクノロジー「コンテンツ配信をめぐる著作権問題」
- ・ 新社会システム総合研究所「放送と通信の融合に伴う法的諸問題」

## 2001 年

---

- ・ 新社会システム総合研究所「デジタル時代の著作権処理と契約書作成マニュアル」
- ・ 日本計画研究所「事例で考える『デジタル時代の著作権処理と契約書作成』」
- ・ 新社会システム総合研究所「新法・著作権等管理事業法で変わる著作権ビジネスと契約実務」
- ・ アクセスブレイン「アーティストとの契約実務」
- ・ アクセスブレイン「エンターテインメントファンドと音楽制作ファンド」
- ・ 新社会システム総合研究所「ブロードバンド著作権と権利処理実務」

## 2000 年まで

---

- ・ windows コンソーシアム「ビジネスモデル特許」(2000 年)
- ・ デジタル時代の著作権協議会 (CCD) 「インターネットと放送」(2000 年)
- ・ JAGAT 「PAGE2000」講演「デジタル時代の著作権のあり方」(2000 年)
- ・ 総合教育セミナー (TED) 「デジタル時代の著作権処理と契約書作成ノウハウ」(2000 年)
- ・ 日本電子出版協会 (JEP A) 「著作権セミナー」(1998 年、1999 年、2000 年)
- ・ windows コンソーシアム「デジタルコンテンツの著作権問題 (音楽編、出版編、映像・

画像編)」(1998年、1999年、2000年)

- ・ メディアアーティスト協会 (MAA) 「著作権講座 (仲介業務法)」 「著作権講座 (著作権バトルの事例考察)」 (1999年)
- ・ 日本ソフトウェア産業協会 (NSA) 「2000年問題への法的対処」 (1999年)
- ・ 札幌市情報システム調査研究会 「音楽ビジネス革命」 (1998年)
- ・ 文部省学術情報センター 「電子出版ビジネスと著作権」 (1998年)

## 著作・論文

---

### 書籍等

- ・ [「エンターテックブック 日本人のためのグローバル著作権ビジネス講座 今、世界で起きている著作権バトルと成功のための未来予測」](#) (PHP研究所・共著)
- ・ “ [THE FIFA REGULATIONS ON WORKING WITH INTERMEDIARIES](#) ” (International Sports Law and Policy Bulletin (Issue 1 – 2016)) (共著) Sports Law and Policy Centre 刊
- ・ [「標準テキスト・スポーツ法学」](#) (エイデル研究所。共著。「スポーツと国際法」担当)
- ・ "[REGULATING EMPLOYMENT RELATIONSHIPS IN PROFESSIONAL FOOTBALL A COMPARATIVE ANALYSIS](#)" (Sports Law and Policy Centre・共著。"Japan" 担当)
- ・ [「スポーツガバナンス実践ガイドブック」](#) (民事法研究会・共著)
- ・ "[International and Comparative Sports Justice](#)" ([Sports Law and Policy Centre](#)・共著。"Sports Justice in Japan" 担当)
- ・ 「[詳解スポーツ基本法](#)」 (成文堂・共著)
- ・ "[Sports Law in Japan](#)" (International Encyclopedia of Laws Series。Kluwer Law International 刊)
- ・ 「[エンターテインメント法](#)」 (学陽書房。「プロスポーツ」担当)
- ・ "[PLAYERS' AGENTS WORLD WIDE LEGAL ASPECTS](#)" (ASSER International Sports Law Centre 刊・"Japan" 担当。平田竹男教授名義の論文に実質の執筆者としてクレジット)
- ・ 「[プロ野球の問題点とこれからの法政策](#)」 (神戸大学法政策研究会編「法政策学の試み—法政策研究 (第11集) 特集・改革期のプロ野球」所収)
- ・ 「[著作権法コンメンタール](#)」 (勁草書房刊・共著)
- ・ 「[トップスポーツビジネスの最前線—スポーツライティングから放映権ビジネスまで](#)」 (講談社刊。「スポーツの法務」担当)
- ・ 「[ネットショップ開業法律ガイド](#)」 (日経 BP 社刊・共著)

- ・ 「知的財産権辞典」 (三省堂刊・共著)
- ・ 「インターネット・デジタルコンテンツの法律知識と Q&A」 (法学書院刊・共著)
- ・ 「インターネットビジネスの法律ガイダンス」 (毎日コミュニケーションズ刊・共著)
- ・ 「デジタル時代の著作権ビジネス契約実務マニュアル」 (インプレス刊・執筆担当)

## 論文・雑誌連載等

- ・ "[Sanctioning Freedom of Speech in Asian Football – Between Fair Comment and Unsporting Behaviour](#)" (droitdusport.com 刊「Football Legal」 #10)
- ・ "[Advocacy for International Players in the Event of Termination by the Club](#)" (droitdusport.com 刊「Football Legal」 #9)
- ・ 「[スポーツ法のこれからの役割ースポーツを通じて人権保障を実現する時代](#)」 (日本評論社刊・「法学セミナー」2018年9月号)
- ・ 「五輪におけるソフトレガシーとしての Integrity 関連規制はいかにあるべきか」 (日本スポーツ法学会年報第23号 (2016) 「アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題」)
- ・ 「大学院生 (法科大学院を含む) を対象とした授業に関する報告」 (日本スポーツ法学会年報第22号 (2015) 「スポーツ法学教育のあり方を考える」)
- ・ 「[スポーツに関する国際的な法整備](#)」 (ぎょうせい刊「法律のひろば」2015年10月号)
- ・ "[TAKE THE "AMATEURISM" REGULATIONS OUT OF STUDENT SPORTS - THE COLLAPSE OF AMATEURISM IN JAPANESE AND US STUDENT SPORTS](#)" (英国スポーツ法サイト"LawInSport"刊 "UNDERSTAND THE RULES OF THE GAME MAGAZINE")
- ・ "[Music Streaming in Japan](#)" (国際エンターテインメント弁護士会 2015年学会誌)
- ・ "[Japanese Sports Law Blog](#)" (「[LawInSport](#)」2014年9月～)
- ・ "World In Review - Japan" (droitdusport.com 刊「Football Legal」2014年6月号)
- ・ 「スポーツガバナンスをめぐるヨーロッパの現状調査」 (日本弁護士連合会刊「自由と正義」2014年5月号)
- ・ "[Sports Law 2014 - Virtual Round Table](#)" (専門家の1名として参加。  
「CorporateLiveWire」2014年3月)
- ・ "An Analysis of IP Rights in Japanese Sports Business" (パート1～2。「[LawInSport](#)」2014年1月)
- ・ "[The Unionization of Sports Players & Athletes - The Global Trend of Unionization with a Focus on the World Football Players' Union \(FIFPro\)](#)" (体育科研35号 (2013年) 上海政法学院)
- ・ 「Integrity 問題の法的な論点整理と国際的傾向～Sports Betting に関連する八百長問題、無気力試合・故意的敗退行為、その他～」 (日本スポーツ法学会年報第20号 (2013))

- 「法的観点から見た競技スポーツの Integrity～八百長、無気力試合とその対策を中心に」)
- ・ "The Rights 'Revolution' for Pro Stars in Japan" (パート 1～3。 [[LawInSport](#)] 2013 年 5 月)
  - ・ "[The Prospect of and Need for Sports Arbitration in Asia - a Japanese Lawyer's Perspective](#)" ( [[LawInSport](#)] 2013 年 2 月)
  - ・ 「音楽人」養成メルマガ「クラウド時代の超ラディカル著作権論」(2012 年 12 月から 2013 年 4 月まで連載)
  - ・ 「スポーツ選手の組織化・その背景と世界的潮流～国際プロサッカー選手会 (FIFPro) を中心に」(旬報社刊「労働法律旬報」1785 号 (2013 年 2 月上旬号))
  - ・ 「The Recent "Revolution" for the Rights of Professional Players in Japan」(フィンランドスポーツ法学会 2012 年学会誌)
  - ・ 「スポーツビジネスにおける知的財産権法の "Misdirection play"」(日本知的財産協会刊「知財管理」2012 年 9 月号)
  - ・ 「プロ野球選手肖像権訴訟に関する一考察」(早稲田大学浦川道太郎教授と共著。民事法研究会刊「Law&Technology」57 号 (2012 年 10 月発行))
  - ・ 「アジアにおけるプロサッカー選手の権利と FIFPro Asia の役割」(日本スポーツ法学会年報第 17 号 (2010) 「アジア各国におけるスポーツ法の比較研究」)
  - ・ 「講演録・著作権紛争はいかに解決されるべきか—「日本版フェアユース」論の片隅で置き去りにされる本当の実務的課題—」(著作権情報センター刊「コピーライト」2009 年 9 月号)
  - ・ 「我が国のプロ野球・サッカー選手の権利と弁護士役割」(日本弁護士連合会刊「自由と正義」2009 年 8 月号)
  - ・ "Sports Betting and the Law in Japan" (International Sports Law Journal 2009/1-2)
  - ・ スポーツビジネスオンライン (Sports Business-Online) 連載・「5 opinions」 「プロスポーツ法務の最前線」など
  - ・ 「日本におけるプロスポーツ法の現状と問題点～実務的観点から見る日本における選手の権利、選手・球団間の労使紛争をめぐる問題点～」(日本スポーツ法学会年報第 14 号 (2007) 「プロスポーツの法的環境」)
  - ・ 「講演録・著作権、パブリシティ権侵害における「実質的違法性」」(著作権情報センター刊「コピーライト」2006 年 8 月号)
  - ・ 「プロ野球問題と法律、法律家の役割」(日本評論社刊「法学セミナー」2005 年 5 月号)
  - ・ 「放送・通信融合」を法律から読み解く (インプレス刊「INTERNET magazine (インターネットマガジン)」2005 年 5 月号)

- ・ 「プロ野球代理人交渉制度導入への経緯、実施状況と今後の課題—選手が求めるもの、制度導入への戦いと今後の課題」（日本弁護士連合会刊「自由と正義」2001年9月号）
- ・ ZDNet: Helpdesk - How-to 「e-Business 実践法律講座」（共著・2000年）
- ・ 「デジクリ」（ソニーマガジンズ刊）における著作権コラム連載（1998年～1999年）